

構築会兵庫支部 平成14年度見学会・総会の概要

平成14年度の見学会は、11月に神戸東部新都心(HAT神戸)の兵庫県立「人と未来防災センター」と㈱神戸製鋼所の「神鋼神戸発電所」を訪れ、参加者38名が興味深い2時間を過ごしました。

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、国内外の地震災害による被害の軽減に貢献するとともに、生命の尊さ・共生の大切さを世界に発信することを目的として、平成14年4月に開設されました。災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災社会の実現に貢献することをミッションに、同センター内では、震災の発生直後から復興が進む現在までの姿を迫力ある映像や被害者などから提供された貴重な資料で伝えています。また、防災に関する総合的・実践的な人材育成や、災害発生時には災害対応の専門家の被災地への派遣などに取り組んでいます。

神鋼神戸発電所は、石炭火力発電方式によって全体で140万kWの電力を生み出す発電所で、1号機(70万kW)が平成14年4月に運転が開始されました。“地域と共生する都市型発電所”をテーマに、大都市におけるライフラインの確立、地域へのエネルギー供給、環境の保全と景観デザイン、地域への社会貢献といった期待を担って建設されたもので、2号機(70万kW)も平成16年に完成予定とのことです。見学に際しては、参加者のためのヘルメットや作業服の用意、都市型火力発電所に関するプロジェクターや資料による説明、発電設備の案内など、当支部幹事でもある園田氏(A78)、富岡氏(A80)をはじめ神戸製鋼所の方々の細やかなお心遣いをいただきました。

総会は、造り酒屋地域で有名な灘五郷の一角にある「神戸酒心館ホール」で36名が出席して開催しました。総会終了後は「酒心館さかばやし」で懇親会です。山村勝保構築会会長、西村宣男土木工学専攻長代理、大野義照建築工学専攻長もご参加くださり、蔵出しの酒に舌鼓を打ちながら賑やかに懇親しました。